

12/25 津更木支部大会



【木更津支部通信員発】 全11支部の最後を飾って、12月24日木更津支部第四回支部大会が開かれました。木更津支部は代議員制であります。乗務員・検査・検修にわたり50名の組合員がおります。小粒でもピリリと辛い山椒ぶりを発揮し、当日も勤務外のほとんどの組合員である38名もが参加して圧倒的成功をかちとりました。

様々な攻撃の中で、勤労千葉は一層強くなってきた。―― 苅込支部長あいさつ――

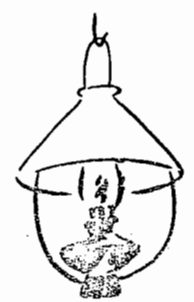
冒頭あいさつに立った苅込支部長から、全組合員の一年間の労苦に感謝の意を表した上で、「本年は、81・3ジェット決戦の勝利、それゆえにうけた大量報復処分と6・12デッチ上げ告訴攻撃と試験に次ぐ試験であった。しかし勤労千葉はつぶれなかった。木更津支部をはじめ、全支部で一致団結して闘ったからだ。今後この地を守り発展させよう。

その中で、職場への合理化攻撃をうちくたく力が発揮される」と、淡々たる口調のうちにも自信と決意のみをぎったあいさつがのべられました。本部より関川委員長の激励のあいさつをうけたのち、総括・方針提起をうけ、活発な討論に入った。

支区将来展望・運転保安 ・合理化等に熱心な討論集中

代議員から出された意見・質問の代表的なものは、「久留里線松岡―亀山間の空転問題と砂まきにおける当局指示の無責任さ」「徐行区間、期間に対する当局措置」

「久留里線で多発傾向にある踏切事故、権力の介入」「当局が三五万人体制合理化をエスカレートさせて『二五万人』などといいはじめているが、久留里線と検修に対する合理化攻撃に対決しなければならぬ」「木更津支区の将来展望―特に、EC転換、学園卒業後の帰属・転勤問題・新採獲得問題」等々、運転保安、合理化、学園対策、とりわけ激化する合理化に抗し木更津支部の組織の存在をめぐっての討論に関心が集中し、予定時間ギリギリまでの熱心な討論がなされました。最後に団結ガンバローをもって、来年も一致団結前進することを誓って成功裡に終了しました。



本号をもって、一九八一年日刊は、最終号とします。全組合員の皆さん。全国の闘う仲間の皆さん。よいお年を！なお(12/31、1/2、3、4、休刊とし)1/1元日号、1/5日号をもって、通常通りの発行体制にもどります。

三里塚・ジェット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉碎！

成田で 団結もちつき大会

81年の成果をつき固め、
82年にむかって更にのびよう！

成田支部は12月25日、支部サークル協が主催し、第一回もちつき大会をおこない、九〇名参加のもと、大盛況を博した。

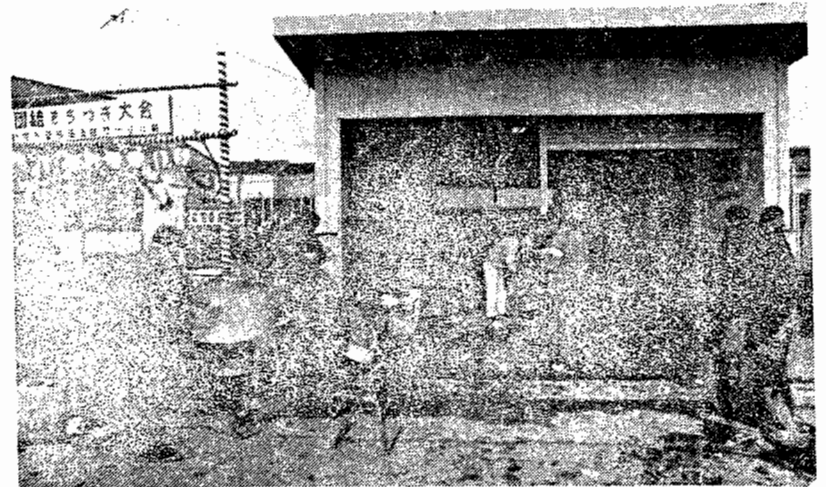
「もちつき大会」は、川嶋サークル協部長の手で「火入れ式」を行い、今日ではめづらしくなった「木りす」3台を使い、組合員、OB、家族組合員の手により、またたく間に2俵をつきあげた。

成田支部通信員発

つきあげたもちは、さっそく青空のもとで、和気あいあいと試食会を行なった。十二時より団結集会を開催し、日暮支部長、本部サークル協を代表して林特執、OB会村上氏、家族組合高木会長からそれぞれあいさつを受けた。

とりわけOB会の村上元支部長は、「退職してはや2年になるが、本日わざわざお招

きしていただきありがとうございます。後輩の皆さんと会えて本当にうれしい。支部の増々の発展を願う」と激励のあいさつをされた。最後に、参加者全員が輪になり、支部長と家族組合高木会長による「記念もちつき」を行ない、第一回もちつき大会を成功裡のうちに終わった。



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！